

欠席理事 松本・井上・安井・小野・勝原

出席理事 沖山・高井・植草・中野・土屋・橋本・富塚・太田・沖山新吾・阿部  
的井・武内・玉井

報告事項

(都民大会)

5月25日 墨田区総合体育館

女子団体2位の成績(1位大田区)

男子2回戦負け(対武蔵村山市)

(目黒体育協会特別表彰)

団体表彰 目黒区卓球連盟(第77回都民大会「卓球、女子」2位)

個人表彰 土屋慶子さん(シニア健康スポーツフェスティバル、ラージボール3位)

日浦真理子さん(都民生涯スポーツ大会3位)

(目黒体育協会褒賞)

太田裕子さん(全国卓球選手権女子70H・東京選手権ハイセブンティ優勝)

小野千代さん(全日本ラージ混合ダブルス100優勝)

三田村則明(マスターズ・ローセブンティ優勝)

議題1 第68回城南六区親善卓球大会 2024年8月12日 港区スポーツセンター

打ち合わせ会義参加者 沖山・高井

○打ち合わせ会議の内容について

- ・選手以外には、沖山会長、植草理事、武内理事、沖山新吾理事、阿部理事が城南六区大会に参加(次回の目黒区主催の大会に向けての視察をしてもらう。)
- ・引継ぎの物資運搬⇒理事の一人が車で行く。中央体育館で預かってもらえるか橋本理事が交渉する。
- ・目黒区での開催時のルール変更について  
※70歳以上については、男女で一つとしていたものを男子、女子を分けて試合をする。合計12試合とする。(決定事項)  
※目黒区主催の大会で、70歳以上については、60歳代で都民大会代表としていた選手は、在住・在勤でなくても、代表として試合に参加できるようにするか事前の打ち合わせ会議で決定する。

○代表選手

男子	一般	40以上	50以上	60以上	70以上
	(合田)	(浅野)	(西本)	(三田村)	(境野)
	(内田)	(豊沢)	(西田)	(高井)	(佐藤)
	(島崎)				

女子

(北野)	(島村)	(小野)	(趙)
(太田)	(富塚)	(橋本)	(勝原)
( )			

※最終決定ではない。

## 課題2 都民大会女子2位の賞金の対応について

前回は5万円の賞金を出したが今回は3万円とする。

2位は今後も3万円とする。1位、3位についてはその時に協議する。

※前回は初めての好成績であったことにより5万円としたが、今後の支給も考慮し2位は3万円とした。

※支給については、監督、代表選手全員に一律支給する。

※体協の賞金（優勝3万円・2位2万円・3位～4位1万円・5位～8位5千円）

## 課題3 目黒区体育祭の小中高大会の参加費の取扱いについて

個人での参加の場合の振込料負担が参加費以上になるケースがあり当日持参も可とするか協議したが受付が煩雑になることや個人参加は少数であることなどから、現行のままとした。

## 課題4 登録・試合申込みのメールやWEBの導入について

目黒区の対応は遅れており、井上理事、的井理事、武内理事、沖山新吾理事を中心に検討してもらうこととする。

## 課題5 マルトクの取扱いについて

10年間区外登録者は男子53人・女子48人であった。

※10年間連続して区外登録であったかの確認は必要

※今は登録していないが、以前に10年間登録していた人は対象にしないのかとの意見があったが、検証の負担が大きいことや、マルトクが増えることで、再度目黒区に登録してくれることもあり得るとの理由から今回の扱いでは対応しない方向。

※マルトク対象者は毎年確認していく。

※以前のマルトクは自己申告させ、試合に参加していたか等も確認し承認していたが、今回の趣旨は連盟登録者を増やすことが目的なので、単純に10年連続を条件とする方向。

※次回の理事会でマルトクの方法を決定する。

## 課題6 体育館指導員について（年間 50回×4体育館＝200回）□は中心的に指導している指導員

中央体育館 □高井、□太田、土屋、小野、柳生、沖山、（勝原）、（橋本）

碑文谷体育館 □中野、□土屋、□冨塚、植草、（赤堀）、（高井）、（勝原）、（阿部）

八雲体育館 □土屋、□冨塚、□阿部、植草、（赤堀）、（勝原）、（高井）

駒場体育館 □橋本、□太田、□島村、（高井）、（勝原）、（沖山）

※体育館の指導は大変な労力があるが、大切な事業であり継続していけるよう新たな指導員を探していく。

## 課題 その他

創立75周年となるが、予算の関係もあり記念タオルの配布はしないこととする。

80周年の際には、目黒区卓球連盟の活動を活性化して対応できるようにしたい。

・2024年度 第3回理事会の開催日

2024年9月7日（土曜日）碑文谷体育館 13時30分より開催